

やまのうち通信

第147号

令和元年7月20日



山内自治振興センター
庄原市山内町 813-4
TEL・FAX (0824) 74-0451
✉ yamanouchi.jichi@gmail.com

人間志をたてるのに
遅すぎるということはない
-スタンリー・
ボールドウィン-

おたがいさまネット

「防災マップ作り」に向けて 「町歩き」を実施しました!



町歩きの様子

7月4日午後1時30分より、第2回「防災マップ作り講習会」が自治振興センター2階講座室で開催されました。普通日の午後にもかかわらず各自治会関係者、女性会役員など25名が参加しました。講師は前回同様、広島県防災アドバイザーの藤原正夫氏です。

初めに庄原市危機管理課より提供された日向地区の大判の地図を前に記入方法の説明を受けました。その後参加者は3班に別れて日向地区の「町歩き」に出かけ、普段気付かない危険箇所の発見や避難経路の検証、広場等災害時に活用できる地域資源の確認などを歩きながら行ないました。集めた情報は、大判地図に色分けをして書き込んだ後、仕上がり各班ごとに発表しました。



防災マップ作りの様子

今回は「町歩き」を通して防災マップ作りの基本作業を教わりました。今後は各自治会に於いてその地域独自の「防災マップ作り」に取りかかることとなります。作業は今回の講習会に参加された方が中心になりますが、庄原市が配布したハザードマップなどに示されない危険箇所や、過去の災害痕跡、避難経路、世帯ごとの避難行動の必要性の有無など、各地域固有の情報を反映するためには、幅広い住民参加が望まれます。

雨の季節只中ではありますが、災害に備える「安心・安全な地域づくり」に向けて、皆様のご協力をよろしくお願い致します。
地域マネージャー 三上智道

山内郷土史研究会

-活動報告-



ガイド説明の様子

平成29年度に発刊した「山内氏 甲山城物語」が中国新聞で紹介されたこともあり、たいへん好評で自治振興センターに多くの問い合わせがありました。これまで県内外から300冊以上の求めがありました。

また、甲山城跡、円通寺をはじめ山内氏の史跡や日吉神社を見学したいから説明をお願いしたいという団体もあり、これまで三原市郷土史研究会、庄原市百働会、福山市備陽史探訪の会、安佐北区落合郷土史研究会の4団体が来訪されました。山内郷土史研究会のメンバーで説明しながら案内したことで、皆さんが山内の歴史を知り、すばらしさを認識して帰られたようです。

今後は、町外から来られる方へのガイド役だけでなく、自治振興区が企画されている町内を巡るウォーキングのガイド役も担えればと考えています。山内郷土史研究会は小学生の加入をはじめ会員が増え、楽しく活動しています。興味がある方はぜひ参加してください。
曾根淳治

高齢者世帯の増加にともない、消費者トラブルも近年増えています。被害者のうち、8割以上が高齢者です。主な手口などをまとめました。家庭や地域での「学び」と「つながり」の中でトラブル防止をすすめることができればと思います。

1 主な手口として

- ① 還付金詐欺：市役所職員を名乗って、「医療費の還付金がある。今日が手続きの期限なので、すぐ担当者へ連絡してください。」と電話があった。教えられた番号に電話をすると、近くのATMで受付番号を入力するよう指示された。
- ② 架空請求詐欺：「民間訴訟通達センター」というところから、身に覚えのないはがきが届いた。訴訟の取り下げ最終期日が間近に迫っていたため慌てて電話をすると、相手が弁護士を紹介し、その弁護士に電話を掛けると供託金として10万円を振り込むよう指示された。
- ③ 訪問購入トラブル：「不用品を何でも買い取る。」という電話があった。用意して待っていたが、訪問した業者は貴金属を強引に買い取って行った。翌日「返して欲しい。」と連絡したが、もう手元にはないと断られた。

2 トラブルを未然に防ぐための心得

- ① 知らない時は「いりません」とはっきり断る。
- ② うますぎる話は、疑って掛かる。
- ③ 業者を簡単に家の中に入れない。
- ④ 個人情報をおかさない。
- ⑤ その場ですぐに契約せず、誰かに相談する。
- ⑥ 日頃から悪質な商法等の情報に関心を持つ。



3 トラブルを受けていることに気付いたら

- ① クーリング・オフ制度を活用すること（すでに契約してしまった場合は、契約日に遡って8日以内であれば契約が解除できる制度）。
- ② 消費生活センターへ相談する。

専門の消費生活相談員が解決のお手伝いをされます。相談は無料で、庄原市では、市役所本庁内1階市民生活課内に「庄原市消費生活センター（☎73-1228）」が設置されています。

※参考…『消費者被害に遭わないために』広島県警察・広島県発行の冊子
『庄原市消費生活センター』庄原市発行の冊子

「環境パトロール隊」



7月実施 左から
畠田憲一さん、児玉祥功さん、松村修治さん



男性料理教室

7月4日(木)7名参加



- ・麻婆豆腐
- ・焼きプチトマトの
カレー酢漬け
- ・おからサラダ
- ・手作り豆腐
- ・いももち

美味しくできました♪



高茂自治会活動報告



高茂自治会では平成 28 年 6 月より始めたシルバーリハビリ体操を、現在では毎月第 2 月曜日午後 1 時 30 分より実施しています。当初は体験会として始めましたが、高齢者の健康作り事業として、昨年 11 月に発足した「高茂いきいき会」の活動に引き継がれました。体操の後は庄原市や市社協の「出前トーク」をお願いしたり、広島県看護協会三次庄原支部派遣の看護師さんのお話を聴いたりして、貴重な集まりの場を有意義に活用しています。また終わった後、参加者が地域の四方山話で歓談するのも楽しいひとときになっています。

高茂自治会 三上智道

健康寿命向上セミナーのご案内



●「栄養改善」教室

【日時】令和元年9月11日（水）10時00分～11時30分

「年寄りだからあまり食べなくていい」、「塩気のないものは欲しくない」と思われていませんか？
毎日食べる食事だからこそ、身体にいい事、学びませんか？

◆参加していただける方 庄原市在住の 65 歳以上の方 ◆お申込み 山内自治振興区 TEL0824-74-0451

◆お問い合わせ先 庄原市社会福祉協議会 庄原地域センター TEL0824-72-5151

山内ゴルフ同好会



5月26日庄原カントリークラブにて、ゴルフコンペが開催されました。

順位	氏名	グロス	ハンデ	ネット
優勝	水田 修	88	20	68
準優勝	金子 久則	79	4	75
3位	杉山 仁	79	3	76

小原流生花教室



月に一度、自治振興センターで生花教室が開催されています。玄関ロビーを華やかにしてくださり、ありがとうございます。

お盆親善ソフトボール大会開催します！



8月11日(日)午前8時から、山内小学校グラウンドで開会式が行われます。開会式後は、山内小学校グラウンドと庄原中学校グラウンドに分かれてゲームを開始します。ソフトボールを通じて親睦を深めましょう！

おくりもの

◆見舞い返し 5/15～7/11

山内町 石原 恵様

ご芳志ありがとうございました。

ご趣旨を大切に地域の社会福祉増進及び地域振興の資金として、活用させていただきます。

山内地区社会福祉協議会

8月 予定

- 6日 原爆慰霊祭
- 11日 お盆親善ソフトボール
- 20日 ふれあい給食 自治会長会
- 24日 よいとこ祭り
- 27日 ふれあい給食

定住促進プロジェクト（空き家活用）だより



写真：くちわの家

6月4日(火)午後から、実安事務局長・寺西マネージャーと3人で、「定住促進対策」で成果を上げられている〇和自治振興区へ視察に行きました。清水区長様、山田事務局長様に対応していただき説明を受けました。

〇和自治振興区の特徴としては、高齢化率 47%を占める中、10年前から定住促進対策に力を入れ、IターンやUターン等の施策に観光協会や地元住民の協力を得て、地域一丸となって取り組んでおられます。特に松江道が開通してからは交通のアクセスが良くなり、実績内容としては、平成24年から7年間で「空き家利用希望相談件数」52件・

「成約件数」19件で、定住移住者は福島県を始め、5家族・延べ61人と着実に実績を積み重ねられています。

福島県から来られた方は、ジャージー牛と共に移住され、チーズ工房を起業されています。その際には、牛舎の修繕から牛の飼料作付け等全面的な支援を自治会や地元住民から受けられました。また、平成28年からは、庄原暮らしを体験していただける目的で、お試し住宅「くちわの家」が開設されました。庄原市以外の移住希望者に、短期間(1週間~3ヶ月間)の貸し出しを行い、ライフスタイルに合わせた体験ができます。

当山内自治振興区では、庄原・三次の中間拠点として、定住希望者がおられます。移住者の受け皿として、まずは皆様方の情報等に基づいた空き家候補地を選定し、各自治会と連携を持ちながら、「空き家活用希望アンケート」の調査を8月末までに実施していきたいと考えています。

地域の皆様のご協力、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

地域マネージャー 藤田典久

山内女性会活動報告 「豆腐作りをしました！！」



7月10日(水)9時から、山内女性会のメンバー21名が参加して「豆腐作り」を行いました。みんなで調理した後は、試食会が行われました。作ったお料理と楽しい会話で親睦が深まりました♪

原爆犠牲者慰霊祭のご案内

原爆が投下されて74年が経過しました。被爆者やご遺族の方々も年々高齢化が進み慰霊祭への参加も少しずつ減少傾向にあります。

しかし原爆投下の事実と、その犠牲者の方々をこの地で看病したという歴史を忘れないように、これからも慰霊祭を続けていくことが求められます。

地域の皆様に、一人でも多くご参加いただき、亡くなられた皆様のご冥福を祈っていただきますようお願いいたします。

日時：令和元年8月6日(火)午前11時～

場所：山内原爆慰霊碑前

今年も慰霊碑の掃除は、山内地区老人会の皆さんと山内放課後子ども教室の子どもたちがボランティアで行ってくださる予定となっております。心より感謝申し上げます。